



ご 挨拶

会長 山中 章右(D35)

緑会会員の皆様にはご清祥のこととお喜びいたします。平素は緑会への一方ならぬご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

総会で承認された緑会の行事は先生方の積極的なご支援により、滞りなく計画通りに進捗し、22年度総会を残すのみとなっております。主行事の一つであります「講演会・懇談会（キャリアサポート交流会）」は3月5日に開催され、ポスターセッションには43社の参加、講演会では山路寛司氏（D49卒）が、懇談会ではご来賓の松井学長、高橋次期学長、篠

田名古屋工業会理事長より、新社会人に対して心温まる餞の言葉を賜り、賑やかな内にも先輩後輩との絆をがっちり結び合いえたものと確信しております。政権も交代し変革が熱望される時機ですが期待通りの変革もできず今年で任期が終了するのは、甚だ申し訳なく思っておりますが、次期執行部はやる気満々の者が当たりますので、大いに期待を込めて、また会員皆様方の今にも増しての更なるご支援・ご鞭撻をお願いいたしまして退任の挨拶といたします。



ポスターセッション



講演会講師 山路寛司氏



科歌斉唱

ご 挨拶

幹事長 伊藤 豪(D41)

緑会会員の皆様にはご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、緑会の事業運営に格別なる、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成21年度も学内諸先生方の多大なご協力により、常任幹事会、役員会、「講演会・懇談会・キャリアサポート交流会」など無事滞りなく終了し、6月の総会を掲載のような内容で迎えることとなりました。名古屋工業大学も創立100周年も超え、又本年高橋新学長を迎え、更なる躍進を目指しています。従来とは変わった大学が感じられると思います。是非ともお友達をお誘いの上、多数の皆様にご参集賜りますようお願い申し上げます。

さて、世の中の情勢は一昨年のサブプライムローンに端を

発した、リーマンショック・トヨタショックが少し和らいできたかに思われた矢先にトヨタバッシングが始まり、現在も閉塞感が漂っています。就職状況も氷河期になっている現状です。こういうときこそ、大学・先生・卒業生・学生が一体となり、日本経済の発展を目指して行動することが大事だと思っています。それには、緑会のような同窓会組織も必要であると思っています。今後とも会員の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

本年緑会は、役員改選時期を迎えます。不祥、私も幹事長役を2年勤めさせて頂き今回退任させて頂きます。その間、会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。緑会の友情に免じて、ご容赦くださいますようお願いいたします。

平成21年度 緑会 講演会・懇談会（キャリアサポート交流会）

緑会会員の皆様にはご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成22年3月5日（金）に「平成21年度 緑会講演会・懇談会（キャリアサポート交流会）」が名古屋市公会堂にて盛大

に開催されました。第一部のキャリアサポート交流会では43企業の参加をいただき、学生の皆さんがパネルを見ながら真剣に企業の方の説明を聞いている様子が見られました。第二部の講演会は、山路寛司氏（関西化学機械製作株式会社 常

務取締役 技術部長、D49) による「新規蒸発装置ウォールウェッターの開発」の演題で装置開発における貴重な体験について講演いただきました。第三部の懇談会は、ご来賓として大学から松井信行学長、高橋実次期学長、水谷尚美理事および名古屋工業会から篠田陽史理事長のご臨席を賜り、教員、

学生、OB及び企業関係者、約300名の参加により賑やかな雰囲気となりました。また、閉会前に行われた「科歌斉唱」では例年通り在学生、OBともに大いに盛り上がり感動の中、閉会となりました。



ご 挨拶

生命・物質工学科 教育類長 多賀圭次郎

緑会の皆様には、日頃より本学科へ多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年3月には、大学院未来材料創成工学専攻の第1期生が修了し、これまでお世話になっていた大学院物質工学専攻の学生とともに、また、第一部生命・物質工学科並びに第二部物質工学科卒業生も、それぞれ社会人及び大学院博士課程前期並びに後期課程へと巣立って行きました。昨年の就職状況は、超氷河期といわれるほど厳しいものでしたが、多くの皆様からご支援を賜り、学部生、大学院生ともにほぼ全員就職できましたことに、改めて感謝申し上げます。緑会会員の皆様におかれましては、引き続き彼らを暖かく見守って、社会人として立派に成長できるようご指導をお願い申し上げます。

さて、本年3月に、永らく本学科のためにご尽力いただきました南後守教授がご退職されました。此処に感謝の意を表したいと思います。その一方で、本学科に新風を吹き込むように、公募により、昨年4月に宮川淳助教が有機化学分野に、11月に井上圭一助教が物理化学分野に、4月に花井淑晃准教授が生化学分野に着任されています。

ところで、本学も平成16年度に始まった国立大学法人としての第一期計画・中期目標をひとまず終え、第二期中期計画・中期目標に向かって進んでいます。先日、国立大学法人評価委員会と大学評価・学位授与機構が、各大学が立てた中期目標・計画による通信簿を公開しましたが、本学も厳しい外

部評価にさらされています。

引き続き第二期中期計画・中期目標においては、本学の理念である「ひとづくり、ものづくり、未来づくり」のもとに、7点の重点項目が以下のようにあげられています。①「与えられる」教育から「自ら育つ」教育に重点を移し、高度な工学知識と実践能力を有する自立した研究者・技術者を輩出する。②世界トップレベルの分野の研究を推進し、工科系の国際教育研究拠点を形成する。③基盤産業の革新に貢献するリーダーと、新産業の創成に貢献するリーダーの育成を目指し、複線的な教育体系を実現する。④国内外におけるトップレベルの大学・研究機関との連携を推進し、教育研究活動を高度化・多様化する。⑤教育・研究・技術協力分野の国際交流を活性化し、国際的視野を持った学生・教職員を育成する。⑥学生が大学構成員としての自覚を持って活動できる仕組みを構築し、学生参画によるキャンパスづくりを推進する。⑦キャンパスの情報化を推進し、環境と調和した快適なキャンパスライフを実現する。

本学科におきましても、この7つの重点項目にそって進んでいく所存ですので、皆様の今後益々のご指導ご鞭撻並びにご協力をお願い申し上げます。

最後に、緑会会員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長(就職担当) 山村 初雄

緑会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび就職担当という大役を仰せつかりました。若輩ではありますが、精一杯努めさせていただきます。学科運営におきましても、教育類長の多賀先生をしっかりと支えるように力を尽くす所存です。何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、就職の現状を申し上げる前置きとして、あらためて緑会に関わる学生について紹介いたします。学部生は第1部生命・物質工学科(内、物質化学及び生物生命プログラム)と第2部物質工学科に所属する学生達です。大学院生は、物質工学専攻(内、プロセス及び生命機能分野)に加えて、一昨年より始まった未来材料創成工学専攻(内、ナノ・ライフ変換科学分野)並びに創成シミュレーション工学専攻(内、計算応用科学分野)の所属になります。簡単に言えば、上記の第1部生命・物質工学科を指導する教員の研究室(旧応用化学科系研究室)に所属の学生とご理解ください。

本年度は、前期課程大学院2年生のうち、大半が就職希望であり、1部・2部の学部生約140名のうち、100名ほどが前期課程進学希望者です。就職協定のために4月以降の選考が増える中、自分の志望を見定めた学生は学校推薦応募で、一方、選択の幅を有効に使う者は自由応募により、いずれも懸命に就職戦線を戦っています。しかし、一昨年からの経済不況の影響はまだまだぬぐい切れておらず、学生達の就職活動も厳しさが続いています。ただ、その中でも、さすが名工大と思うほどの求人をお願いしています。これらの多くは、先輩方のご功績の賜物であり、また後輩達へのご高配と感じています。この場をお借りして、篤く御礼申し上げますとともに、引き続き、後輩、ならびに本学科のために、さらなる温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、緑会会員の皆様方のより一層のご健勝とご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

平成22年度 緑会総会のご案内

今年も緑会の総会を下記のように開催いたします。
お忙しい中、まことに申し訳ありませんが、ご出席の程宜しくお願い致します。
今回はなるべく多くの方の出席をお願い致したく、懇親会会費は無料といたします。
総会・講演会には名古屋在中の方も誘ってください。締切日6月19日までをお願いします。

記

日 時	平成22年6月26日（土）
場 所	名古屋工業大学 2号館 1階0211(旧F1)教室
総会	15:00～15:30
講演会	15:30～17:00
講演者	駒田 周美 氏 (D45) GSユアサ
演 題	大型リチウム電池の開発
懇親会	大学会館2階 カフェテリア 17:10～18:30
連絡先	出羽毅久 (H21年度学内庶務幹事) midori@ach.nitech.ac.jp

◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 藤井 賢一 (D36)

緑会・東京支部は名古屋工業会東京支部と同様に、東京都、埼玉、千葉、神奈川、茨城、群馬、栃木の全都六県に在住の会員で構成されており、会員数は工業会4千名強の中で700名強となっています。支部の役員は、支部長、幹事長、副幹事長3名それに各卒業年毎に幹事を決めていきます。支部活動は単科会単独では実施せずに、すべて工業会支部活動と一体となって実施しています。したがって、役員は工業会役員を兼務し、工業会の行事である「ごきそサロン」、「エクスカッション」、「東京棋友会」、「東京ゴルフ会」及び最大の催しである「秋の総会」の実施メンバー/リーダーを務めています。単科会としては4月と9月に役員・幹事会を開催し、4月には活動報告と計画を話し合う他に、出席者の若い順に近況報告をして頂いています。仕事/趣味の話から始まり後半は健

康維持・管理が中心になります。9月は11月開催の「工業会総会・緑会秋の集い」の準備のほかに、出席メンバーの一人に講演をお願いしています。テーマは自由ですが会社での業績あるいは趣味の上での成果を報告して頂いています。最近では「お遍路の総括」とか「100名山完登」などです。悩みは工業会と同様ですが、若い卒業生の参加が少ないことです。異なった業界、業務をもつ方々との交わりは、年をとるごとに価値を高めるものです。若い方々の参加をお待ちしています。なお、会場場所は工業会が会員となっている八重洲倶楽部(東京駅八重洲地下街 Ⅱ: 03-3275-0801)の会議室です。ロビーは無料、会議室は会員価格で利用できますので、活用してください。

◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 末利 鏡意 (D41)

緑会の皆様方には、ご清栄の段お喜び申し上げます。今回は、緑会近畿支部の現状を報告いたします。緑会近畿支部は、古い歴史と経済を兼ね備えた多様性のある1大文化圏を成している大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県をカバーしております。会員数は2000名を超えると推定されますが、現在支部名簿で約650名を把握しております。今後とも会員各位のご活躍と活発な情報交換を期待しています。以下に近畿支部の行事を紹介します。

① 支部総会

隔年で開催します。前回は平成21年7月4日に参加者30名で実施しました。緑会の幹部、大学の先生の出席をお願いしており、大学の現状等の情報交換を行います。

② ゴルフコンペ

平成7年以来、年2回【春・秋】のペースで開催しています。

③ 緑会近畿支部ホームページの開設

名古屋工業会の大阪支部で開設したホームページを活用しています。パソコンをお持ちの皆様はぜひアクセスして下さい。

④ つれづれ草の会

近畿支部では、「日々一新」(日に1つでよいから新しいことを知ろう!)をモットーに各種の催し物を行っています。(酒蔵見学、吉本新喜劇観劇など)

名古屋工業会大阪支部との交流も盛んで、緑会メンバーが各委員会に参加、運営を行っています。

新任教員紹介

就任挨拶

井上 圭一

初めまして2009年11月に生命・物質工学科に助教として赴任して参りました、井上圭一と申します。私は出身が兵庫県で、これまで人生のほとんどを関西地区で生きてきたため、名古屋は全く初めてに近い状態なのですが、本学に来て教職員の方々のアクティビティの高さや学生の活発さと意欲の高さに驚かされる毎日です。

私の専門は一応物理化学の範疇に入ると自分では考えておりますが、対象は光によって様々な化学反応を行う光受容タンパク質であり、レーザーなどの光学機器を使った分光測定

を主な手法としています。従って物理化学のみならず、生物学、光学の観点から新たな領域の研究をここ名工大および生命・物質工学科から発信していければと思っています。また勉強および研究にモチベーションの高い学生の皆様の実力を最大限に伸ばせる教育をしていけるよう、こちらも目一杯努力していく所存です。

私自身は全くの若輩者であり、長い歴史の中で数多くの優秀な人材を輩出されてきた本学科および緑会の中におきましては、実力不足のところが多々あるかと思いますが、諸先輩方からは叱咤およびご鞭撻をいただければ幸いです。以上をもって就任のご挨拶とかえさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

教員の異動 (2009. 4 以降)

退	職	2010年3月31日	南後	守	教授
新	任	2010年4月1日	花井	淑晃	准教授
新	任	2009年11月1日	井上	圭一	助教

平成21年度卒業生就職先一覧

●博士後期課程●

《就職先》

理化学研究所 小野薬品工業 上海森松

●博士前期課程●

《就職先》

日本コーンスターチ 中央発條 TDK 東海光学 三和油化
東海理化 星光PMC 青山製作所 朝日インテック
日産化学工業 一宮市役所 東洋エンジニアリング リンナイ
デンソーアイテック 中部電力 VSN コニシ 三洋化成
東海理化 東芝 ダイセル化学工業 エスケー科研
日清食品HD 新東工業 三和油化 NTT西日本 三菱化学
旭金属工業 化成工業 理研ピタミン 東芝 NAC 三井化学
豊田市役所 半導体エネルギー研究 長田電機工業 住友ゴム
ノリタケカンパニーリミテッド 三井造船 トヨタ紡織
豊橋市役所 ニデック 東海ゴム 林テレンプ 東ソー
積水化学 榎屋 東芝テック NTT西日本 東ソー ライオン
朝日インテック JSR 太陽化学 フジミインコーポレーテッド
伊勢久 アイシン・エイ・ダブリュ 京大後期進学 INAX

《進学先》

名工大 京大院 名大院

●第一部●

《就職先》

内藤商会 熊野油脂 AJS (旧 旭化成情報システム)
富士宮市役所 トヨタ紡織 フタムラ化学 シミズ工業
武田製薬 TOKAI デンソー 日東工業 豊田通商
愛知県庁 丸信製粉 林テレンプ 伊藤忠商事 サンゲツ
半導体エネルギー研究所

《進学先》

名工大 東大院 京大院 名大院 豊田工大 北陸先端大学院

●第二部●

《就職先》

三五 名古屋学院大学事務 愛知県教員 サングレイ
エルフルール・デザイン キムラユニティー 山田メッキ
春日井製菓 フォーラムエンジニアリング 三協熱研
本田技研工業 岐阜県教員 杉江製陶 セントラルヨシダ
成田製作所 ジャニス工業

《進学先》

名工大 名大院 北陸先端大院

緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>

名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>